

きつと恋する六古窯 日本生まれ日本育ちのやきもの産地



越前焼とお茶で一服 /

今も多くの窯元が集う
盛衰をみた窯業産地。

福井県の嶺北地方西部に位置する越前町は、日本海に面し、沿岸部から北部にかけて500メートル級の山々が連なる地域です。やきものの産地としての歴史は、約850年前の平安時代末期。これまで発見された200基以上の窯跡では、かめや壺、すり鉢といった日常雑器が焼かれていました。硬くて丈夫な越前焼は、越前海岸から船で北海道南部、島根県の日本海沿岸に運ばれ、大きなかめや壺は水や穀物の貯蔵、藍染めなどで重宝されました。それに伴い越前町平等は、かめ60個、すり鉢1200個など約5トンを一度に焼くことができる全長約25メートルの巨大な窯を構える一大生産拠点となりました。

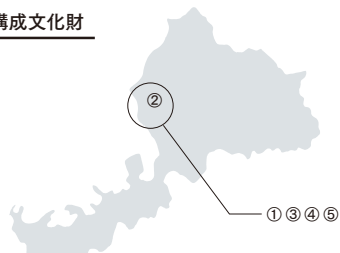
室町時代後期には日本海側最大のやきものの産地となった越前窯ですが、明治時代に入ると水道の普及や磁器製品の広まりにより需要が落ち込み、衰退。しかし、地元の古陶磁研究者・水野九右衛門と、日本を代表する陶磁史研究者・小山富士夫らが行った発掘調査と研究により復興を遂げ、昭和23年(1948)に「日本六古窯」のひとつとして数えられ、越前焼は全国に知られるやきものとなりました。

昭和46年(1971)には、越前町小曾原に「越前陶芸村」が完成しました。敷地内に

は、越前焼の歴史や魅力を紹介する福井県陶芸館や越前古窯博物館をはじめ、温泉や宿泊施設、食事処などが点在し、越前焼の魅力や存在に体感できます。また、毎年5月末には県内の越前焼窯元が一同に集結する「越前陶芸まつり」が開催。陶器市では新作をはじめ、さまざまな越前焼を手にとることができます。

昭和61年(1986)には国の伝統的工芸品として指定を受け、今も多くの窯元がその技と表現を磨き続けています。

主な構成文化財



- ①越前焼／越前町
- ②劔神社本殿／越前町
- ③陶芸越前大がめ捻じたて成形技法／越前町
- ④越南窯／越前町
- ⑤越前赤瓦／越前町

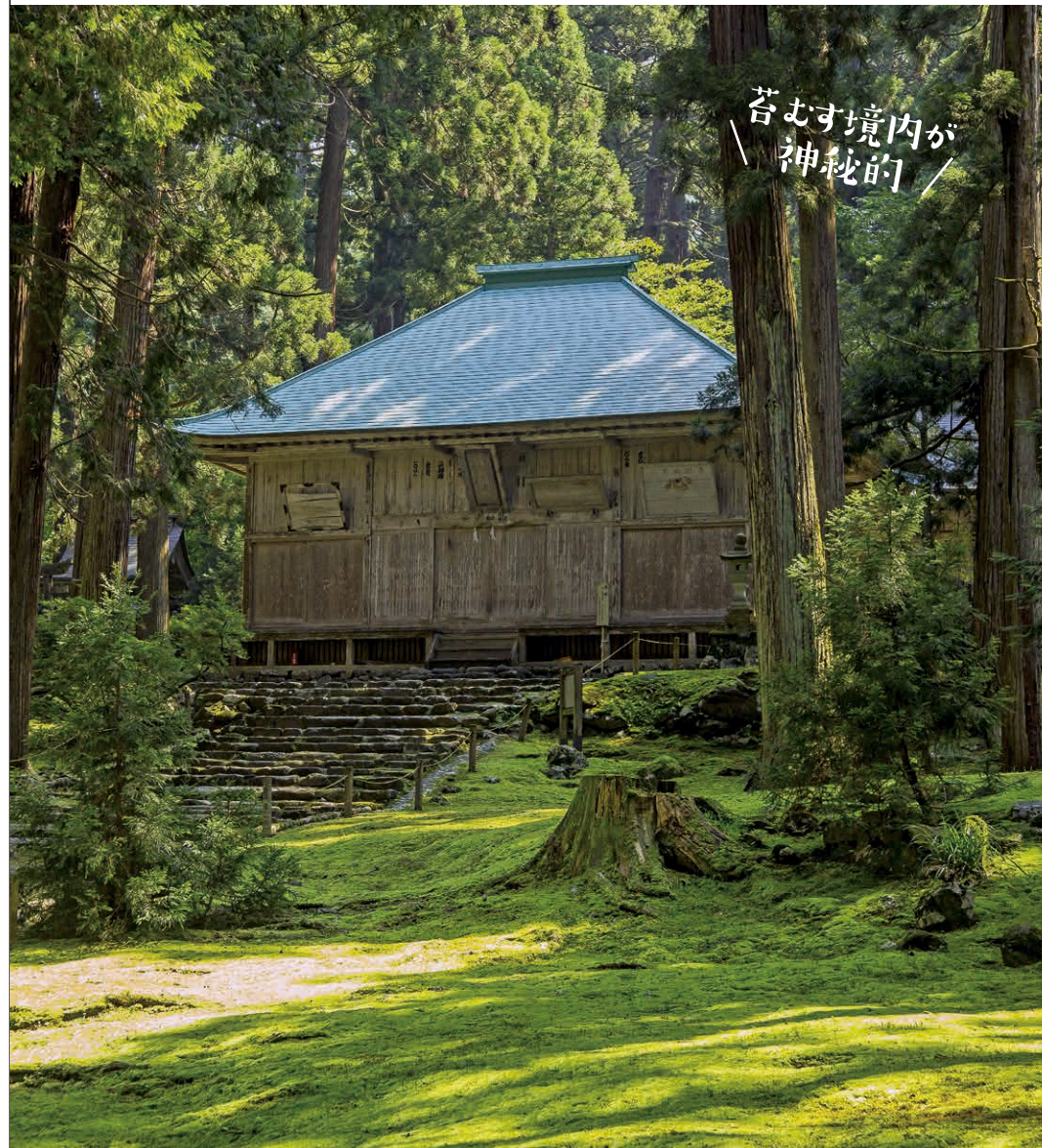


右上／福井県陶芸館では越前焼のさまざまな魅力を紹介 右下／織田信長公ゆかりの越前二の宮劔神社。越前焼の職人も氏神として信仰していた② 左上／福井県陶芸館では、手びねりや電動ろくろを使った本格的な陶芸体験ができる 左中／陶芸村内の芝生広場には岡本太郎の作品「月の顔」の他、作品が点在 左下／越前焼の館をはじめ、陶芸村内の各所で越前焼が購入できる

越前陶芸村では、越前焼をより深く学び、作って楽しむ陶芸体験ができる。また本格的な茶室があり、四季折々の表情を見せる庭園を眺めながら越前焼のお茶碗でお抹茶を楽しむ

400年の歴史の扉を開ける旅

石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井



白山平泉寺は白山信仰の拠点寺院で、今から1,300年近く前に泰澄によって開かれたと伝えられる。周辺には巨大な宗教都市が形成され、最盛期には6,000もの坊院が立ち並んでいた④

大量の「石」を用いた都市
今もまちの風景の中に。

「白山平泉寺」と「乗谷」では、500年ほど前の中世の時代、巨大な都市が栄えていました。どちらも大量の「石」を計画的に用いたまちづくりを行っていたことが大きな特徴です。近世になると、福井や勝山の城下町の整備に石の技術が受け継がれ、現代の街並みにも石がとけ込んでいます。

「白山平泉寺」は、社殿の周辺に6,000もの坊院が立ち並ぶ巨大な宗教都市でした。南谷の坊院跡には石畳や石垣、石積みのお堀などが残ります。石畳には平らな川石が、石垣はごつごつした山石が積まれています。また本社前には巨石をふんだんに使った大石垣があり、その存在感に圧倒されます。

「乗谷」のまちづくりにも石が巧みに利用されています。城下町入口の下城戸跡には、敵の侵入に備えた高さ5メートル近くの巨大な石垣が威容を誇ります。当主・朝倉義景の館跡や城下町跡には、建物の柱を支えた礎石が残っており、当時の街並みや暮らしぶりを想像できます。

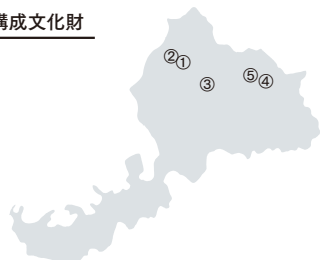
二つの都市が減んだ後、柴田勝家が築いた「北庄城」、結城秀康が築いた「福井城」の石垣には、福井市足羽山産の「笏谷石」が使われました。福井城の美しい石垣は、現在も市街地の真ん中で親しまれています。そのほかにも笏谷石は大量に使われ、採掘場跡で

ある「丹巖洞」や歴代福井藩主の廟所である大安禅寺「千畳敷」などで見られます。

一方、勝山では、九頭竜川の流れて形成した河岸段丘に丸い川石を積み上げた「七里壁」を境として、武家屋敷や町家などが区分された城下町が作られていきました。

庭園においても石をうまく取り入れており、白山平泉寺や、乗谷の庭園跡では、石の配置やその組み合わせから室町時代の庭園文化が読み取れます。また、越前松平家別邸の「養浩館庭園」では県内外の名石の数々と水の景色が醸し出す優美な空間を楽しめます。

主な構成文化財



- ①福井城址／福井市大手3丁目17-1
- ②大安禅寺／福井市田ノ谷町21-4
- ③一乗谷朝倉氏遺跡／福井市城戸ノ内町
- ④白山平泉寺旧境内／勝山市平泉寺町平泉寺
- ⑤七里壁／勝山市栄町～立川町付近



右上／一乗谷朝倉氏遺跡下城戸跡の石垣。約5m近く積み上げられている③ 右下／福井城址。約4万個の笏谷石を積み上げて作られた石垣① 左上／勝山城下町・七里壁の石垣(義宣寺付近)⑤ 左中／歴代福井藩主の廟所、大安禅寺「千畳敷」② 左下／越前松平家別邸の養浩館庭園



●公式HP
福井・勝山 石がたり
福井・勝山
日本遺産活用推進協議会